

患者さまへ

「薬剤溶出性ステント留置後中期被覆の検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2015年4月より2023年4月までに、名古屋徳洲会総合病院循環器内科で薬剤溶出性ステントを留置され半年後に光干渉断層撮影法(OCT)をうけた患者さま
2 研究目的・方法	各種薬剤溶出性ステント留置患者さまを対象として、ステント留置半年後(中期)の被覆状況について検討することを目的とします。ステント毎、あるいは、患者さまの特性に応じ、将来同様に冠動脈ステント留置術を受ける患者さまにおいて、抗血小板薬併用療法期間の短縮を期待できる可能性があるかを検索します。 研究の期間:施設院長許可(2024年6月予定)後~2024年12月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。 その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	性別、年齢、冠動脈バイパス手術の既往、経皮的冠動脈インターベンション(PCI)の既往、心筋梗塞の既往、心不全の既往、内服薬、血管造影画像、光干渉断層撮影法(OCT)画像など
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 青山英和、名古屋徳洲会総合病院 循環器内科、副院長(研究責任者) 住所:愛知県春日井市高蔵寺町北 2-52 連絡先:0568-51-8711